

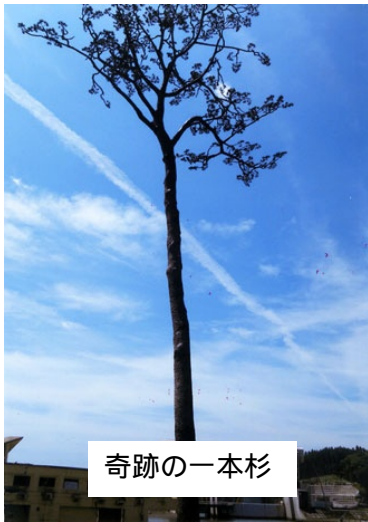
全国周遊の旅を終えて

(退職記念夫婦二人のキャンプ旅行)

広陵台 1 丁目自治会 山口彰

退職後の夢であった夫婦二人のキャンプ旅行を 3 カ月かけて行って来ました。往きは日本海側を通り一路北海道へ、帰りは太平洋側を通るコースで走行距離約 1,2000 キロの旅でした。

1 人との出会い・ふれあい



奇跡の一本杉

宿泊地は全国各地の道の駅、ここでは私たちと同じキャンパーや地元の方との出会いがあり、特にキャンパーとは仲間意識がすぐ芽生え、旅の情報交換はもちろんのこと様々な人生談義に花が咲くこともありました。北に上るにつれて声を掛けられる機会が増え、特に道の駅に野菜果物を卸しに来たおばちゃん達が福岡ナンバーをみて「九州からよく来られましたね、よかったらこの野菜食べてください」とおいしい野菜を頂くこともしばしば・・・別れ際には「私にはできないから、気をつけて楽しんでね！」と言って見送ってくれました。色々なところで人の心の温かさに触れ、日本もまだ捨てたもんじゃないなと痛感しました。

2 日本の自然風景の素晴らしさ・自然界の動物たち

旅のツアーやテレビで見る美しさもさることながら、この旅は時間制限がなく、思いつきで色々な角度から自由な時間に見ることができることから、その時々自然の表情をつぶさに観察することができる楽しみがあるのもいいことだと思いました。

また、北海道はワクワク動物ランドで熊・北キツネ・エゾリス・エゾ鹿等数多くの自然界の動物たちとは、

出会いまでの緊張感とその後のわくわく感は何とも言えない初めて動物を見た時の子供のような気持ちを思い起こさせてくれました。全くの偶然でしたが、ある牧場で道路わきから牛の出産シーンを観ることもできました。



被災した中学校

3 東北被災地を訪ねて感じたこと



震災から約4年を過ぎ、素人考えで日本だからかなり進んでいると思っていましたが直接視てガッカリ・・・まだまだ東北被災地は大変だと痛感させられました。

復興道路工事、海岸沿いの土地のかさ上げ工事、住宅建設(仮設から新設住宅のための)等で道路は他県ナンバートラックの往来で道路は渋滞、粉じんがすごく、また、被災当時のままの中学校や7階建てのマンションなどを目にするもありました。このころ、東京オリンピックの経費のことで色々取り上げられていましたが、そのお金を東北に使ってほしいな、使うべきやろうと強く思いました。東北からオリンピックのために人や車が東京に引き揚げられないかが特に心配で、さらに東北復興が遅れなければいいなと強く思うばかりです。

4 旅のおわりに

この旅では、全国の世界遺産等観光地、温泉・秘湯、道の駅ではご当地自慢の食材を堪能、所さんではないがその地方の町人・村人との会話を楽しむ(方言を聞きながら)こともでき、旅行ツアー等では味わえない見どころ・味どころなどをたくさん実感することができた本当に素晴らしい旅でした。そして、何よりも私達夫婦にとってこの旅は残りの人生を生きる上で絆(愛)を深める旅でもありました。(笑・・・)

